

※県政記者クラブ加入各社のうち、静岡市内の支局に FAX 送信しています。 [送信 1 枚]

提供日 2017/3/2

タイトル シンポジウム「『健康長寿』静岡県食材の“おいしさ”の
数値化とそのアウトバウンド戦略」

担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
地域・産学連携推進室



静岡県立大学記者提供資料

シンポジウム

「『健康長寿』静岡県食材の“おいしさ”の数値化とそのアウトバウンド戦略」

静岡県は食材に恵まれ、また健康寿命が世界トップクラスです。静岡県立大学では、食材の生産・加工・販売を健康長寿産業と位置づけ、ウェルビーイング産業のグローバル展開ビジネスモデルを創出したいと考えています。本学は、昨年 10 月に、農林水産省「平成 28 年度『知』の集積による産学連携推進事業のうち研究開発プラットフォーム運営等委託事業」に採択され、事業運営ネットワーク構築を進めています。その一環として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

報道機関の皆様におかれましては、当日取材にご協力をお願いします。

記

◆日時 平成 29 年 3 月 3 日（金）13 時 00 分から 15 時 00 分まで

◆会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5 階第 3 会議室
（静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1）

◆内容

13:00～13:05 趣旨説明 深井 満（プラットフォーム・プロデューサー）

13:05～13:15 「知」の集積と活用の場の取組みについて 野田 幸太郎（農林水産省 専門官）

13:15～13:45 食品のおいしさを科学する 山野善正（おいしさの科学研究所理事長）

13:45～14:15 食のデータサイエンス：産業と学術をつなぐ 金谷重彦（奈良先端科学技術大学院大学・教授）

14:15～14:40 「茶」をキーワードとしたアウトバウンド戦略を立てる
中村順行（静岡県立大学・茶学総合研究センター長）

14:40～15:00 プラットフォームの取組み：
小林裕和（静岡県立大学・副学長／プラットフォーム・代表）

◆主催 ウェルビーイング産業研究開発プラットフォーム（静岡県立大学）

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 地域産学連携推進室

電話 054-264-5124

メールアドレス renkei（ここに@を入れてください）u-shizuoka-ken.ac.jp